

## 令和3年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和2年7月10日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 7608 URL <https://www.sk-japan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 石井 正則 TEL 03-6660-5005  
 四半期報告書提出予定日 令和2年7月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和3年2月期第1四半期の連結業績（令和2年3月1日～令和2年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年2月期第1四半期	1,238	△17.2	21	△73.0	22	△71.2	16	△74.7
2年2月期第1四半期	1,494	△1.2	79	△55.4	79	△56.0	67	△56.7

(注) 包括利益 3年2月期第1四半期 23百万円 (△58.8%) 2年2月期第1四半期 57百万円 (△66.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年2月期第1四半期	2.01	—
2年2月期第1四半期	8.04	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年2月期第1四半期	3,999	3,305	82.7	391.66
2年2月期	3,901	3,318	85.1	394.82

(参考) 自己資本 3年2月期第1四半期 3,305百万円 2年2月期 3,318百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年2月期	—	4.00	—	6.00	10.00
3年2月期	—	—	—	—	—
3年2月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

令和2年2月期期末配当金の内訳 普通配当4円 30周年記念配当2円

### 3. 令和3年2月期の連結業績予想（令和2年3月1日～令和3年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	△21.3	100	△83.6	100	△83.7	82	△84.5	9.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年2月期1Q	8,490,103株	2年2月期	8,490,103株
② 期末自己株式数	3年2月期1Q	49,575株	2年2月期	84,142株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年2月期1Q	8,429,758株	2年2月期1Q	8,354,917株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年までの「企業収益の向上」「雇用・所得環境の改善」等による緩やかな回復基調から、年明けの「人手不足による物流費の高止まり」と「消費税増税後の消費環境の悪化が顕在化」に加え、2月以降の「新型コロナウイルス」の世界的な感染拡大によって国内外の経済に深刻な影響が及んでおります。

さらに、国内に於いては4月7日に政府から「緊急事態宣言」が発令されて以降、当業界でも休業要請によって臨時休業が相次いだ事により、深刻な影響が出始めております。

このような中、当社グループは前年同期の実績を大きく下回り、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,238百万円（前年同期比17.2%減）、営業利益は21百万円（前年同期比73.0%減）、経常利益は22百万円（前年同期比71.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16百万円（前年同期比74.7%減）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

## &lt;キャラクターエンタテインメント事業&gt;

キャラクターエンタテインメント事業におきましては、「星のカービィ」等の定番キャラクターの事前受注は堅調に推移した反面、新型コロナウイルス感染拡大の影響より取引先店舗の臨時休業が相次いだ事から、取引先の強い要請により多数の受注商品の出荷を順延せざるを得ませんでした。

以上の結果、売上高639百万円（前年同期比39.4%減）、営業利益26百万円（前年同期比72.6%減）となりました。

## &lt;キャラクター・ファンシー事業&gt;

キャラクター・ファンシー事業も同様に、大部分の取引先店舗が臨時休業を余儀なくされ既存キャラクター商品の売上が大きく落ち込む事となりましたが、そんな中でも前期にはなかった人気漫画「鬼滅の刃」商品の販売が好調に推移しました。

以上の結果、売上高598百万円（前年同期比36.4%増）となりましたが、利益面では商品構成の変化による利益率の低下により営業損失5百万円（前年同四半期は17百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ97百万円増加し、3,999百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少額161百万円、受取手形及び売掛金の減少額95百万円、電子記録債権の減少額82百万円により一部相殺されたものの、商品の増加額382百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ110百万円増加し、693百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少額35百万円により一部相殺されたものの、買掛金の増加額157百万円によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ13百万円減少し、3,305百万円となりました。これは主に、自己株式の減少額13百万円により一部相殺されたものの、利益剰余金の減少額33百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益16百万円、剰余金の配当△50百万円）によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年2月期の連結業績予想につきましては、令和2年4月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,297,032	2,136,013
受取手形及び売掛金	747,081	651,642
電子記録債権	278,584	196,150
商品	242,604	625,127
その他	96,037	147,906
貸倒引当金	△215	△177
流動資産合計	3,661,126	3,756,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,697	14,697
減価償却累計額	△13,808	△14,253
建物及び構築物（純額）	888	444
その他	156,585	161,489
減価償却累計額	△124,522	△130,098
その他（純額）	32,062	31,391
有形固定資産合計	32,951	31,835
無形固定資産	52,813	49,653
投資その他の資産		
投資有価証券	44,645	54,280
退職給付に係る資産	42,796	42,244
繰延税金資産	55,253	52,172
その他	18,030	18,319
貸倒引当金	△6,036	△6,036
投資その他の資産合計	154,688	160,981
固定資産合計	240,453	242,470
資産合計	3,901,579	3,999,133

（単位：千円）

	前連結会計年度 (令和2年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	290,994	448,973
未払法人税等	44,198	8,206
賞与引当金	22,260	28,465
その他	181,210	163,580
流動負債合計	538,662	649,224
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	907	1,160
その他	43,175	42,933
固定負債合計	44,082	44,093
負債合計	582,745	693,318
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	494,622	494,865
利益剰余金	2,383,450	2,349,977
自己株式	△32,184	△18,903
株主資本合計	3,307,884	3,287,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,684	19,113
繰延ヘッジ損益	1,115	1,900
為替換算調整勘定	△2,850	△3,136
その他の包括利益累計額合計	10,949	17,877
純資産合計	3,318,834	3,305,814
負債純資産合計	3,901,579	3,999,133

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自令和2年3月1日 至令和2年5月31日)
売上高	1,494,908	1,238,381
売上原価	1,024,743	883,647
売上総利益	470,164	354,733
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	95,874	100,862
賞与引当金繰入額	20,800	6,205
退職給付費用	13,677	4,104
執行役員退職慰労引当金繰入額	165	252
荷造運搬費	84,277	66,727
貸倒引当金繰入額	△10	△37
その他	175,404	155,012
販売費及び一般管理費合計	390,189	333,127
営業利益	79,975	21,605
営業外収益		
受取配当金	164	175
為替差益	—	730
賃貸収入	316	316
その他	4	12
営業外収益合計	485	1,234
営業外費用		
為替差損	1,194	—
その他	4	1
営業外費用合計	1,199	1
経常利益	79,261	22,838
税金等調整前四半期純利益	79,261	22,838
法人税、住民税及び事業税	12,583	5,807
法人税等調整額	△454	68
法人税等合計	12,128	5,875
四半期純利益	67,132	16,962
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,132	16,962

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成31年3月1日 至令和元年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自令和2年3月1日 至令和2年5月31日）
四半期純利益	67,132	16,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,494	6,429
繰延ヘッジ損益	△6,487	784
為替換算調整勘定	△154	△286
その他の包括利益合計	△9,136	6,928
四半期包括利益	57,995	23,891
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,995	23,891
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（追加情報）

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の影響については、前連結会計年度末時点の仮定に重要な変更を行っておらず、経済や生活行動等に広範な影響を与える事象ではありますが、各地域での感染拡大の収束、経済活動再開に伴い当社グループの商品の需要は徐々に回復していくと想定しております。当該仮定に基づき、繰延税金資産（52,172千円）の計上にあたっては、将来の課税所得の見積を行い回収可能性の判断を行っております。なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルスの感染拡大の状況やその経済への影響が当初の想定より変化した場合には、損失額が増減する可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成31年3月1日 至 令和元年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,056,178	438,729	1,494,908	—	1,494,908
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,056,178	438,729	1,494,908	—	1,494,908
セグメント利益又はセグメント 損失（△）	97,502	△17,527	79,975	—	79,975

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 令和2年3月1日 至 令和2年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	639,757	598,623	1,238,381	—	1,238,381
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	639,757	598,623	1,238,381	—	1,238,381
セグメント利益又はセグメント 損失（△）	26,703	△5,098	21,605	—	21,605

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。